

2024 年度 事業報告

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本肝臓学会

2024 年度 事業報告

1. 一般社団法人日本肝臓学会定款（以下「定款」という。）第 4 条 第 1 項第 1 号の規定に基づいて、学術集会を開催、学術誌・学術図書を発行した。また、研究の奨励、研究業績の表彰等を行った。

(1) 学術集会の開催

名 称	期 間 ・ 会 場	会 長
第 60 回総会 参加：3,982 名	2024 年 6 月 13 日（木）～14 日（金） 熊本市：熊本城ホール テーマ：A Better Liver, A Better Life ! ～栄光の架橋 2024～	田中 靖人 熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学講座
第 28 回大会 (JDDW2024) 参加：24,311 名	2024 年 10 月 31 日（木）～11 月 1 日（金） (第 32 回日本消化器関連学会週間) 神戸市：神戸コンベンションセンター、他 WEB 開催 テーマ：肝臓学の新しい潮流	四柳 宏 東京大学医科学研究所先端医療研究センター 感染症分野
第 45 回東部会 参加：1,582 名	2024 年 12 月 6 日（金）～7 日（土） 仙台市：仙台国際センター テーマ：肝臓学を探究する	大平 弘正 福島県立医科大学消化器内科学講座

EASL- JSH Joint Session

JSH 主催 第 60 回総会	2024 年 6 月 13 日（木） 熊本市：熊本城ホール テーマ：From Fatty Liver to Steatotic Liver －Impact of nomenclature change on clinics－	Chair 竹原 徹郎 Speaker 川口 巧 川中 美和 Discussant 角田 圭雄 瀬古 祐也
EASL 主催	2024 年 6 月 6 日（木）～7 日（金） テーマ：Viral hepatitis C ハイブリッド開催	Chair 考藤 達哉

AASLD-JSH Joint Symposium

JSH 主催 第 28 回大会	2024 年 11 月 1 日（金） (第 32 回日本消化器関連学会週間) 神戸市：神戸コンベンションセンター、他 WEB 開催 テーマ：New Perspective on NAFLD versus MASLD	Chair 考藤 達哉 Speaker 徳重 克年 今城 健人 芥田 憲夫 Discussant 高橋 宏和 伊藤 隆徳
AASLD 主催	2024 年 11 月 14 日（木）～19 日（火） サンディエゴ (USA) テーマ：Varix 現地開催	Chair 吉治 仁志 Speaker 石川 剛

日本動脈硬化学会との Joint Session

第 60 回総会	2024 年 6 月 13 日（木） テーマ：脂質代謝異常・MACE を踏まえ MASLD, MetALD の病態に迫る	司会 川口 巧 演者 小関 正博
----------	--	---------------------

第 56 回 動脈硬化学会総会	2024 年 7 月 7 日（日） テーマ：MASLD/MASH を背景とした脂質代謝、 動脈硬化研究	司会 鎌田 佳宏 小関 正博 演者 中川 勇人 高橋 宏和
--------------------	---	--

『第 10 回 肝臓と糖尿病・代謝研究会』は、肝臓学会の担当で開催した。

名 称	期 間 ・ 会 場	会 長
第 10 回 肝臓と糖尿病・ 代謝研究会	2024 年 7 月 6 日（土） 兵庫県：淡路夢舞台国際会議場	竹原 徹郎 大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

(2) 学術誌・学術図書の発行

① 和文誌『肝臓』

第 65 巻 4 号～12 号、66 巻 1 号～3 号、第 60 回総会、第 28 回大会、第 45 回東部会の講演要旨を刊行した。

② 欧文誌『Hepatology Research』

Vol.54 No.4～12、Vol.55 No.1～3 を刊行した。

2023 年の Impact Factor は 3.9（前年 4.2 から-0.3）

③ その他

- 肝がん診療ガイドライン第 6 版の作成を継続した。
- FALD 診療の手引きの作成を継続した。

(3) 研究の奨励、研究業績の表彰

① 「織田賞（日本肝臓学会賞）」を田中 靖人（熊本大学大学院）に授与した。

② 「研究奨励賞」を以下の 8 名に授与した。

葉山 惟信（東京都立多摩北部医療センター）

河合 裕成（国立病院機構 西埼玉中央病院）

鈴木 孝典（名古屋市立大学病院）

渡邊 雄介（新潟大学医歯学総合病院）

富野 高広（九州がんセンター）

廣岡 昌史（愛媛大学医学部附属病院）

筒井由美子（九州大学病院）

瀬戸山博子（熊本大学病院）

③ 機関誌 Citation Award を以下の 4 名に授与した。

○【Review Article (Special Report を含む)】

紅林 泰 (慶應義塾大学) Review Article

工藤 正俊 (近畿大学) Review Article

○【Original Article (Short Communication、Case Report を含む)】

堤 翼 (久留米大学病院) Original Article

荘 拓也 (北海道大学病院) Original Article

④ 冠 Award (3 社 3 賞) を 6 名に授与した。

○AbbVie Elimination Award 2024

《優秀研究賞》【基礎】市川 将隆 (慶應義塾大学)

【臨床】青木 智子 (近畿大学)

○第 9 回 Gilead Sciences Award

《優秀研究賞》 須田 剛生 (北海道大学)

小谷 晃平 (大阪公立大学大学院)

瀬古 裕也 (京都府立医科大学大学院)

○第 1 回 Rising star of the year Award by Abbott

《優秀研究賞》 鈴木 浩之 (久留米大学)

2. 定款第 4 条第 2 項の規定に基づいて、教育講演会を開催し、肝臓専門医を育成した。

(1) 教育講演会

一般社団法人日本肝臓学会教育講演会に関する内規に基づいて教育講演会を開催した。

名 称	期 日 ・ 会 場	会 長
前期 教育講演会 参加：1,132 名	2024 年 6 月 15 日 (土) WEB 開催 (LIVE 配信)	田中 靖人 熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学講座
後期 教育講演会 参加：807 名	2024 年 12 月 7 日 (土) 仙台市：仙台国際センター (ハイブリッド開催)	大平 弘正 福島県立医科大学消化器内科学講座
e ラーニング (第 1・2 期) 参加： 第 1 期 385 名 第 2 期 282 名	第 1 期： 2024 年 7 月 3 日 (水) ～8 月 16 日 (金) 配信内容：2023 年度後期教育講演会 第 2 期： 2024 年 11 月 5 日 (火) ～12 月 16 日 (月) 配信内容：2024 年度前期教育講演会	—

※前期・後期教育講演会において、それぞれ e ラーニング配信用の収録を行い配信した。

(2) 肝臓専門医制度

肝臓専門医制度に基づいて、2024 年度肝臓専門医の認定・更新・指導医の認定・更新および施設認定を行った。

肝臓専門医認定試験は、2024 年 11 月 24 日 (日) に全国に設置している CBT 試験センターで実

施し、受験者は 307 名、うち合格者は 280 名を新たに専門医として認定した。

専門医更新者は 2024 年度最終 1,725 名、2025 年度更新者 1,409 名を認定した。指導医は 67 名を新たに認定し、暫定指導医から指導医への移行者を新たに 41 名、更新者として 335 名を認定した。

認定施設は、新たに認定施設 5 施設、関連施設 8 施設、特別連携施設 15 施設の新規認定を行い、また認定施設 71 施設、関連施設 11 施設、特別連携施設 10 施設の更新を承認した。

3. 定款第 4 条第 4 項の規定に基づいて市民公開講座を開催し、各都道府県責任者のもとにおいて肝がん撲滅運動を展開した。また、第 5 項に基づいて事業を展開した。

(1) 一般市民の肝臓病に関する啓発のため、厚生労働省の後援を得て、肝臓週間（7 月 22 日から 7 月 28 日）の最終日 2024 年 7 月 28 日（日）に全国 5 ヶ所で市民公開講座を開催した。

○東北地区	責任者 柿坂 啓介（岩手医科大学） 会 場 岩手教育会館 多目的ホール 参加者 51 名
○関東地区	責任者 加藤 直也（千葉大学大学院） 会 場 ペリエホール RoomB 参加者 37 名
○甲信越地区	責任者 前川 伸哉（山梨大学） 会 場 山梨大学医学部臨床大講堂 参加者 82 名
○中部地区	責任者 田尻 和人（富山大学） 会 場 富山県民会館 701 号室（WEB 同時配信） 参加者 現地：52 名・WEB：93 回
○四国地区	責任者 高口 浩一（香川県立中央病院） 会 場 かがわ国際会議場 参加者 180 名

(2) ウイルス肝炎研究財団主催の市民公開講座の開催地及び責任者を推薦した。

○中国地区	責任者 永原 天和（鳥取大学附属病院） 日 時 11 月 9 日（土） 会 場 鳥取大学 記念講堂
-------	---

(3) 肝がん撲滅運動（1999 年度から実施）

各都道府県 50 ヶ所で市民公開講座や医療従事者向けの講演会等を開催した。

(4) 医学教育事業（2018 年度から実施）

① 肝炎医療コーディネーター研修会

医師以外の医療従事者を対象として研修会を開催。2024 年度は 34 地区で開催し、肝炎医療コーディネーターの育成を行った。

② School of Hepatology

1) 2024 年 10 月 5 日 (土) ～6 日 (日)

責任者：中川 勇人 (三重大学大学院医学系研究科消化器内科学)

場 所：賢島宝生苑 [三重県志摩市阿児町神明 718 番の 3]

形 態：現地開催

テーマ：基礎から学ぼう！「オミクス解析」

参加者：34 名

2) 2024 年 10 月 13 日 (日) ～14 (月・祝)

責任者：廣岡 昌史 (愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学)

場 所：ホテルマイステイズ松山 [愛媛県松山市大手町 1-10-10]

形 態：現地開催

テーマ：病理医×放射線科医×臨床医のクロストークから学ぶ肝画像診断

参加者：18 名

4. 会議の開催

定款及び定款施行細則等の規定に基づいて、理事会、定時総会（評議員会）を開催したとともに各種委員会を随時開催し、学会の運営等について審議した。

(1) 理事会

第1回臨時理事会	2024年 4月 8日 (月)	持回 審議
第1回定例理事会	2024年 6月12日 (水)	熊本
第2回臨時理事会	2024年 6月14日 (金)	熊本
第3回臨時理事会	2024年 7月24日 (水)	WEB開催
第4回臨時理事会	2024年 8月29日 (木)	持回 審議
第5回臨時理事会	2024年10月10日 (木)	持回 審議
第2回定例理事会	2024年10月30日 (水)	神戸
第6回臨時理事会	2025年 1月14日 (火)	持回 審議
第7回臨時理事会	2025年 2月18日 (火)	持回 審議
第8回臨時理事会	2025年 2月28日 (金)	持回 審議
第3回定例理事会	2025年 3月 3日 (月)	東京

(2) 定時総会（評議員会）

2024年 6月13日 (木) 熊本

(3) 各種委員会

・財務委員会	(第1回)	2024年 5月13日 (月)	WEB開催
	(第2回)	2024年12月20日 (金)	持回 審議
	(第3回)	2025年 2月17日 (月)	WEB開催
・企画広報委員会	(第1回)	2024年 9月 5日 (木)	持回 審議
	(第2回)	2024年10月 7日 (月)	WEB開催
	(第3回)	2024年12月26日 (木)	WEB開催
・倫理委員会	(第1回)	2025年 1月28日 (火)	持回 審議

・ 学術集会審議委員会	(第1回)	2024年 8月 6日 (火)	WEB開催
	(第2回)	2024年12月17日 (火)	持回審議
	(第3回)	2025年 2月17日 (月)	WEB開催
・ 国際委員会	(第1回)	2024年 8月26日 (月)	WEB開催
	(第2回)	2024年10月31日 (木)	持回審議
	(第3回)	2025年 1月20日 (月)	持回審議
	(第4回)	2025年 1月24日 (金)	持回審議
	(第5回)	2025年 1月27日 (月)	持回審議
・ 演題選定委員会	第28回大会	2024年 6月 7日 (金)	東京
	(第1回)	2024年 7月29日 (月)	WEB開催
	第45回東部会	2024年 8月23日 (金)	郡山
・ 欧文誌編集委員会	第61回総会	2025年 2月13日 (木)	東京
	(第1回)	2024年 6月13日 (木)	熊本
	(第2回)	2024年11月29日 (金)	WEB開催
・ 和文誌編集委員会	(第1回)	2024年 8月 6日 (火)	持回審議
	(第2回)	2024年 9月 2日 (月)	持回審議
	(第3回)	2024年 9月20日 (金)	WEB開催
	(第4回)	2025年 2月 7日 (金)	WEB開催
・ 研究助成委員会	(第1回)	2024年 9月10日 (火)	WEB開催
	(第2回)	2025年 3月25日 (火)	WEB開催
・ 生涯教育委員会	(第1回)	2024年 8月27日 (火)	WEB開催
	(第2回)	2024年10月22日 (火)	持回審議
・ 肝臓専門医制度審議会	(第1回)	2024年 4月22日 (月)	WEB開催
	(第2回)	2025年 1月29日 (水)	持回審議
	(第3回)	2025年 2月 7日 (金)	WEB開催
・ 肝臓専門医試験委員会	(第1回)	2024年 8月 8日 (木)	WEB開催
	(第2回)	2024年 9月 9日 (月)	WEB開催
	(第3回)	2024年10月17日 (木)	持回審議
	(第4回)	2024年12月 9日 (月)	WEB開催
・ 市民公開講座企画検討委員会			
	(第2回)	2024年 9月26日 (木)	WEB開催
	(第3回)	2024年12月 6日 (金)	持回審議
	(第4回)	2025年 2月26日 (水)	持回審議
・ 社会保険委員会	(第1回)	2024年 6月28日 (金)	持回審議
	(第2回)	2024年 8月28日 (水)	持回審議
	(第3回)	2024年 9月20日 (金)	WEB開催
	(第4回)	2024年 9月30日 (月)	WEB開催
・ 肝移植委員会	(第2回)	2024年 7月 8日 (月)	WEB開催

	(第3回)	2024年10月29日 (火)	WEB開催
・ 治験支援委員会	(第1回)	2024年10月 3日 (木)	WEB開催
・ キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会	(第1回)	2024年 9月 2日 (月)	WEB開催
	(第2回)	2025年 3月24日 (月)	WEB開催
・ ガイドライン統括委員会	(第2回)	2024年 5月21日 (火)	WEB開催
	(第3回)	2024年10月 7日 (月)	WEB開催
	(第4回)	2024年12月11日 (水)	WEB開催
	(第5回)	2024年12月24日 (火)	WEB開催
	(第6回)	2025年 3月 7日 (金)	WEB開催
(4) 支部会関係			
西部会世話人会		2024年10月30日 (水)	神戸
西部会評議員会		2024年10月31日 (木)	神戸
東部会世話人会		2024年12月 5日 (木)	仙台
東部会評議員会		2024年12月 6日 (金)	仙台

5. その他

(1) 他の学術団体との連携について

①日本医学会

8月21日 日本医学会の次期用語委員として、臨時理事会にて坂本副理事長を推薦した。

2月12日 日本医学会再生医療等レジストリ委員会の任期満了に伴う委員派遣について依頼があり、土屋淳紀評議員に継続していただくことになった。

②日本医学会連合

2月28日 2024年度加盟学会連絡協議会が開催され、竹原理事長が出席した。

③日本医師会

10月8日 健康食品安全対策委員会委員の推薦について、臨時理事会で考藤常務理事を推薦した。

④内科系社会保険連合

5月10日 令和6年度第1回社員総会（WEB）に寺井理事が出席した。

7月5日 令和6年度 第1回 内保連・外保連合同内視鏡委員会（WEB）に寺井理事が出席した。

1月24日 内保連説明会（WEB）に寺井理事が出席した。

2月4日 内保連検査関連委員会（WEB）に日浅理事が出席した。

⑤アジア太平洋肝臓学会（APASL）

5月13日 「APASL Oncology 2024 千葉」への後援を承認した。

⑥ウイルス肝炎研究財団

6月19日 肝臓週間実施における共催名義について承認した。

⑦日本肥満症治療学会

10月20日 日本肥満症治療学会・日本肥満学会との合同シンポジウムへ寺井理事が座長として登壇した。

テーマ：肥満の制御から考える脂肪性肝疾患に対する新しいアプローチ

⑧日本アルコール・アディクション医学会

当学会と合同で運営している「アルコール依存症の診断と治療に関する e ラーニング研修」を配信し、両学会で 2024 年度は医師 629 名、メディカルスタッフ 186 名が受講した。（同 e ラーニング研修開始後累計 医師 3,767 名、メディカルスタッフ 1,520 名）

⑨日本医療安全調査機構

6 月 3 日 令和 6 年度定時社員総会（WEB）が開催され、坂元亨宇理事が出席した。

8 月 21 日 日本医療安全調査機構の次期統括責任者として、臨時理事会にて持田理事を推薦した。

9 月 2 日 第 1 回日本医療安全推進学会学術総会への後援名義使用を承認した。

⑩日本臓器移植関連学会協議会

8 月 21 日 世話人として、臨時理事会にて日浅理事を推薦した。

(2) 自治体・市民団体等の共催・後援について

①2024 年 7 月 28 日 第 12 回 世界・日本肝炎デーフォーラムが開催され、黒崎常務理事が挨拶した。

②2024 年 7 月 22 日～7 月 28 日 第 34 回「肝臓週間」実施に伴う共催名義使用を承認した。

③2024 年 10 月 2 日開催の令和 6 年度北海道肝疾患医療従事者研修会（WEB 開催）の後援名義使用を承認した。

(3) 情報システムの整備と情報管理の向上

・会員管理システムの改修を継続して行った。

事業報告の附属明細書

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書について、事業報告の内容を補足する重要な事項はない。